

住吉大社概要

住吉大社は、約 2000 年前から大阪湾を見守っている。住吉大社は、3 世紀に神功皇后によって創建され、住吉三神と呼ばれる海の神々、そして神功皇后の死後は三神と一緒に祀られた神功皇后の合計 4 神を祀っている。

住吉大社は創建以来、海とのかかわりが深い。漁師や海運など海事関係者が、今でも住吉大社に航海の安全を祈願しに訪れる。また、19 世紀後半まで日本の歴史的な首都圏や地方への主要な玄関口であった大阪の港を精神的に守ってきた神社でもある。

また、住吉大社は、長い歴史の中で詩歌、芸能、相撲、恋愛成就、商売繁盛、安産などと縁が深く、「すみよっさん」と親しみを込めて呼んでいた大阪の人々の心の支えとなってきた。

住吉大社は、神事や祭りで全国的に知られている。毎年 1 月の初詣には 200 万人もの人々が住吉大社を訪れる。真夏の「住吉祭」は大阪でも最大級の祭りで、クライマックスには神輿が練り歩く。また、6 月の田植えや初秋のお月見などの行事では、音楽や踊り、詩の朗読などが行われ、訪れる人々を魅了している。